

海外経済

		10月月例	11月月例
世界経済		<p>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、<u>経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の拡大によるリスクに十分留意する必要がある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、<u>持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、<u>経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p>	<p>アメリカでは、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。 先行きについては、<u>持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染症の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
アジア地域	中国	<p>中国では、景気は持ち直している。 先行きについては、<u>持ち直しが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p>	<p>中国では、景気は持ち直している。 先行きについては、<u>持ち直しが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p>
	その他アジア	<p>韓国では、景気は厳しい状況にあるが、<u>下げ止まりつつある。</u>台湾では、景気は持ち直している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にある。タイでは、景気は厳しい状況にあるが、<u>下げ止まりつつある。</u>インドでは、景気は極めて厳しい状況にあるが、<u>下げ止まりつつある。</u></p>	<p>韓国では、景気は厳しい状況にあるが、<u>持ち直しの動きがみられる。</u>台湾では、景気は持ち直している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にある。タイでは、景気は厳しい状況にあるが、<u>下げ止まっている。</u>インドでは、景気は極めて厳しい状況にあるが、<u>下げ止まりつつある。</u></p>
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	<p>ユーロ圏では、景気は依然として厳しい状況にあるが、<u>持ち直しの動きがみられる。</u>ドイツにおいても、景気は依然として厳しい状況にあるが、<u>持ち直しの動きがみられる。</u> 先行きについては、<u>持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>ユーロ圏では、景気は依然として厳しい状況にあるなかで、<u>感染症の再拡大の影響により、経済活動が抑制されており、足下で景気は下押しされている。</u>ドイツにおいても、景気は依然として厳しい状況にあるなかで、<u>感染症の再拡大の影響により、経済活動が抑制されており、足下で景気は下押しされている。</u> 先行きについては、<u>当面、感染症の影響が続くと見込まれる。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
	英国	<p>英国では、景気は依然として厳しい状況にあるが、<u>持ち直しの動きがみられる。</u> 先行きについては、<u>持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>英国では、景気は依然として厳しい状況にあるなかで、<u>感染症の再拡大の影響により、経済活動が抑制されており、足下で景気は下押しされている。</u> 先行きについては、<u>当面、感染症の影響が続くと見込まれる。</u>また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>

(注) 下線部は先月から変更した部分。